

# Cisco IOS XE ソフトウェアで発見された、任意のファイルがアップロードされる脆弱性

**High**      アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20190327-afu](#)      [CVE-2019-1743](#)  
初公開日 : 2019-03-27 16:00  
バージョン 1.0 : Final  
CVSSスコア : [8.8](#)  
回避策 : No workarounds available  
Cisco バグ ID : [CSCvi48984](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco IOS XE ソフトウェアの Web ユーザ インターフェ이스の脆弱性により、認証されていないリモート攻撃者が影響を受けるデバイスのファイル システムに不正な変更を加える可能性があります。

この脆弱性は、入力に対する不適切な検証に起因します。攻撃者はこの脆弱性をエクスプロイトし、悪意のあるファイルを作成してデバイスにアップロードできる危険性があります。攻撃者がエクスプロイトに成功すると、管理者レベルの権限を取得する場合があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190327-afu>

このアドバイザリーは、2019 年 3 月 27 日に公開された Cisco IOS ソフトウェアおよび IOS XE ソフトウェア リリースのセキュリティ アドバイザリー バンドルの一部です。このバンドルには、19 件の脆弱性に関して 17 件のシスコ セキュリティ アドバイザリーが含まれています。これらのアドバイザリーとリンクの一覧については、以下を参照してください。[シスコのイベント対応 : Cisco IOS および IOS XE ソフトウェアに関するセキュリティ アドバイザリー公開資料 \( 半年刊、2019 年 3 月 \)](#)

## 該当製品

## 脆弱性のある製品

Web サーバ機能が有効になっている場合、この脆弱性は、影響を受ける Cisco IOS XE ソフトウェアのリリースを実行しているシスコ デバイスに影響を及ぼします。

脆弱性が存在する Cisco IOS XE ソフトウェア リリースについては、このアドバイザリの「[修正済みソフトウェア](#)」セクションを参照してください。

## HTTP サーバ設定の確認

HTTP サーバ機能がデバイスで有効かどうかを確認するには、管理者がデバイスにログインして CLI で `show running-config | include http (secure|server)` コマンドを使用し、グローバル コンフィギュレーションに `ip http server` コマンドまたは `ip http secure-server` コマンドが含まれるかどうかを確認します。どちらかのコマンドが含まれ、設定されている場合は、HTTP サーバ機能が有効です。

次に、IPv4 ヘルパー アドレスが設定されたデバイス上の `show running-config | include http (secure|server)` コマンドの出力を示します。このルータでは HTTP サーバ機能が有効になっています。

```
Router# show running-config | include http (secure|server)

ip http server
ip http secure-server
```

## Cisco IOS XE ソフトウェア リリースの判別

デバイス上で実行されている Cisco IOS XE ソフトウェア リリースは、管理者がデバイスにログインして、CLI で `show version` コマンドを実行し、表示されるシステム バナーを参照することにより確認できます。デバイスが Cisco IOS XE ソフトウェアを実行している場合、システム バナーに「*Cisco IOS Software*」、「*Cisco IOS XE Software*」などのテキストが表示されます。

次に、Cisco IOS XR ソフトウェア リリース 16.2.1 が実行されていて、インストールされているイメージ名が `CAT3K_CAA-UNIVERSALK9-M` であるデバイスでのコマンドの出力例を示します。

```
ios-xe-device# show version
```

```
Cisco IOS Software, Catalyst L3 Switch Software (CAT3K_CAA-UNIVERSALK9-M), Version Denali
16.2.1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2016 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Sun 27-Mar-16 21:47 by mcpre
```

Cisco IOS XE ソフトウェア リリースの命名と番号付けの規則に関する詳細は、『[Cisco IOS and NX-OS Software Reference Guide](#)』を参照してください。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性が存在する製品の](#)セクションにリストされている製品だけ既知この脆弱性によって影響されるためにである。

シスコは、この脆弱性が Cisco IOS ソフトウェア、Cisco IOS XR ソフトウェア、および Cisco NX-OS ソフトウェアには影響を与えないことを確認しました。

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェア アップデートを提供しています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェア アップグレードをインストール、ダウンロードする、または、アクセスしたり、その他の方法で使用する場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェア ライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html>

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成は新規リリースでも継続して適切なサポートが受けられることを確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

## サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco TAC に連絡してアップグレードを入手してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

## Cisco IOS および IOS XE ソフトウェア

Cisco IOS ソフトウェアおよび IOS XE ソフトウェアの脆弱性による侵害の可能性を判断できるよう、シスコでは [Cisco IOS Software Checker](#) ツールを提供しています。このツールにより、特定のソフトウェアリリースに該当するシスコセキュリティアドバイザリ、および各アドバイザリで説明されている脆弱性が修正された最初のリリース（「First Fixed」）を特定できます。また該当する場合、そのリリースに関するすべてのアドバイザリの脆弱性が修正された最初のリリース（「Combined First Fixed」）を特定できます。

このツールを使用して次のタスクを実行できます。

- ドロップダウン リストからリリース（複数可）を選択するか、分析対象となるローカル システムからファイルをアップロードして、検索を開始する
- `show version` コマンドの出力をツールで解析する
- カスタマイズした検索（過去に公開されたすべてのシスコセキュリティアドバイザリを検索対象に入れたり、特定のアドバイザリのみ、または最新のバンドル資料のすべてのアドバイザリを含めるなど）を作成する

リリースが、公開されたシスコセキュリティアドバイザリのいずれかに該当するかどうかを確認するには、Cisco.com の [Cisco IOS Software Checker](#) を使用するか、以下のフィールドに Cisco IOS ソフトウェアまたは Cisco IOS XE ソフトウェア リリース（たとえば、15.1(4)M2、3.13.8S など）を入力します。

デフォルトでは、Cisco IOS ソフトウェアのチェックには、結果は、高セキュリティへの影響の評価（サー）または重大な脆弱性にのみが含まれています。「中間」の SIR 脆弱性の結果を含めるには、Cisco.com の Cisco IOS ソフトウェア チェッカーを使用して、[Impact Rating] ドロップダウン リストの [中間 (Medium)] チェックボックスをオンにします。

Cisco IOS XE ソフトウェア リリースと Cisco IOS ソフトウェア リリースのマッピングについては、Cisco IOS XE ソフトウェアのリリースに応じて「[Cisco IOS XE 2 Release Notes](#)」、「[Cisco IOS XE 3S Release Notes](#)」、または「[Cisco IOS XE 3SG Release Notes](#)」を参照してください。

注: Cisco IOS XE ソフトウェア リリース 16.9.1 以降では、アップグレードにスマート ライセンスが必要です。Cisco IOS XE をリリース 16.9.1 以降にアップグレードする予定がある場合は、スマート ライセンス要件を検討することをお勧めします。次のドキュメントに追加情報が記載さ

れています。『 [Smart Licensing](#) 』

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

## 出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

## URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190327-afu>

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	Date
1.0	初回公開リリース		最終版	2019 年 3 月 27 日

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。